

◎北陸地方の3か月予報(3月~5月)

新潟地方気象台2月25日現在

- ・向こう3か月の天気は数日の周期で変わり、気温・降水量は平年並みの見込みです。
- ・3月の気温は平年並みか高い見込みだが、4月は安定しない天気が予想されています。

1.品質・作柄をささえる土づくり

【土づくり】

- ・土づくりを実施した圃場では気象による温度変化の影響を受けにくくなります。
- ・登熟後半の稲体活力を維持することで高品質米生産に繋がります。

売れる米づくりは育苗準備から!
水につけた時から始まります。



【土づくり資材使用例】

H25年度土壌分析結果より

『リン酸 不足地域』(柏崎管内全域)
⇒ 苦土重焼燐・粒状熔燐 20

『けい酸 不足地域』(東部田尻・北条)
⇒ 粒状ケイカル・JA柏崎専用土づくり肥料

※JA 柏崎専用土づくり肥料については、リン酸・けい酸を含むためどちらの地域でも使用できます。

☆特に低水温の地域では初期生育を促すためにリン酸施用を推奨します

P

リン酸

初期生育の体づくりに貢献します。
根の活着を促進するためにも施用を心がけましょう。

Si

けい酸

茎葉を硬くし倒伏や病虫害被害の軽減が見込めます。

【作土深の確保】

- ・水稻の根の8割以上は作土層に分布し、生育に必要な栄養を得ています。
- ・登熟期の高温に負けない水稻を育てるため、15cmの深さで耕し、十分な作土深を確保しましょう。

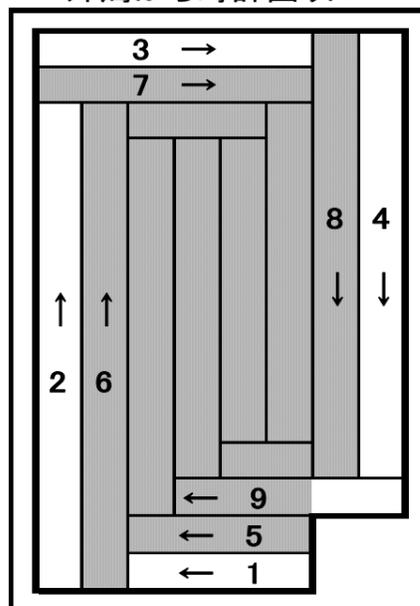
作土深 柏崎・刈羽地域平均値			
H24年	H25年	H26年	H27年(目標)
11.9cm	11.9cm	12.0cm	15.0cm

- ※耕深を一度に深くし過ぎると初期生育の不良等を引き起こすことがありますので、計画を立てて徐々に耕深を深くしましょう。
- ※秋うち未実施の水田では土を練り過ぎないように注意しましょう(ワキの発生を助長させます。)

☆耕深15cmを確保するために“回り耕ち”を行いましょう!

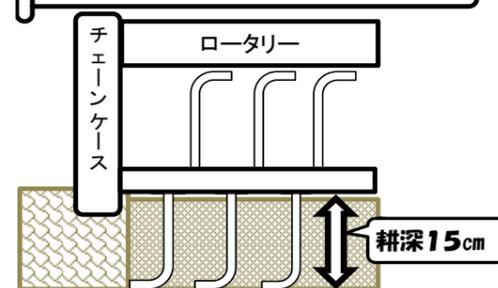
< 回り耕ちの方法 >

外周から時計回りに



■部分は深耕できる

チェーンケースは耕した場所を通し、ロータリーを下げる



非耕起状態だと地表面にチェーンケースが当たりそれ以上ロータリーを下げるできません。
回り耕ちをすることでチェーンケースを地表面より下げられ耕深を確保しやすくなります。

2.基肥施用量を確認しましょう

- ・基肥不足に注意し、地力に応じて調整しましょう。

資材ごとの散布量の目安(10a当たり:標準的な地力のほ場を想定。)

対象品種	資材名	使用量めやす	窒素成分量 (うち有機窒素成分量)	備考
こしいぶき	エコマル288	20kg~40kg	2.4kg~4.8kg	基肥+穂肥体系
	たんぼのちから	30kg~35kg	3.0kg~3.5kg (1.44~1.68kg)	
コシヒカリ		25kg~30kg	2.5kg~3.0kg (1.30~1.44kg)	
コシヒカリ	JA 柏崎コシヒカリ一発肥料	35kg~40kg	4.2kg~4.8kg (2.52~3.12kg)	一発肥料

3.適期に田植えができるように育苗計画をたてましょう

☆老化苗を防ごう！

田植日から逆算して作業日等を決め播種が早くなりすぎないようにしましょう。

☆雪融けは遅い模様。

昨年に比べて積雪量が20~40cmほど多い状況です。(3月16日現在)
各地域の積雪量に合わせて作業を始めてください。

消雪予想
(3月16日現在)

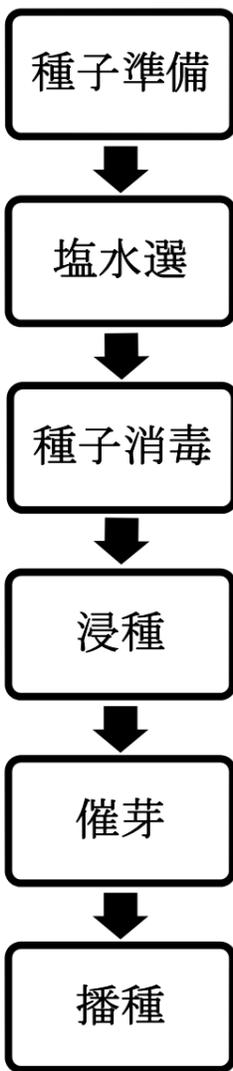
○鶴川(旧鶴川小学校)
積雪 214 cm
消雪予想 4月25日
○高柳(高柳事務所)
積雪 154 cm
消雪予想 4月18日

【作業スケジュール例(加温出芽、ハウス管理の場合)】

	浸種	芽出し	播種	出芽	田植え
新潟次郎	4/9	4/19	4/21	4/23	5/10~
こしいぶき こがねもち	4/14	4/24	4/26	4/28	5/15~
コシヒカリ	4/18	4/28	4/30	5/2	5/20~

消雪の状況に応じて作業日程は前後させて下さい

4.播種までの作業手順



1箱あたり必要量		
	乾粉(g)	催芽粉(g)
稚苗	130~140	165~175

	比重	塩(水10ℓに対して)	硫酸(水10ℓに対して)
うるち	1.13	1.9kg	2.5kg
もち	1.08	1.1kg	1.4kg

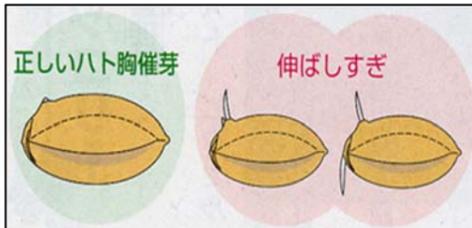
軟弱苗にならないように多く撒きすぎない!

近年ばか苗の発生が増えています。温湯消毒だけでなくタフブロックとの併用で消毒しましょう!

○タフブロックは下記の使い方参照
○温湯消毒の場合は必ず乾いた種子を用いる
温度時間をしっかり守る(うるち:60℃10分間)

○積算温度で100℃を目安に行う(☆今年の休眠程度は平年並)
○水温10℃未満を避ける(発芽揃いが悪くなるため特に浸種初期は注意)
○水量は種粉の2倍(種粉1kgに対して約3.5ℓ)

○催芽時の温度は30℃以上にしない(他の菌も活動しやすくなるため)
○発芽状態はハトムネ状態に仕上げる(伸ばしすぎないように注意)

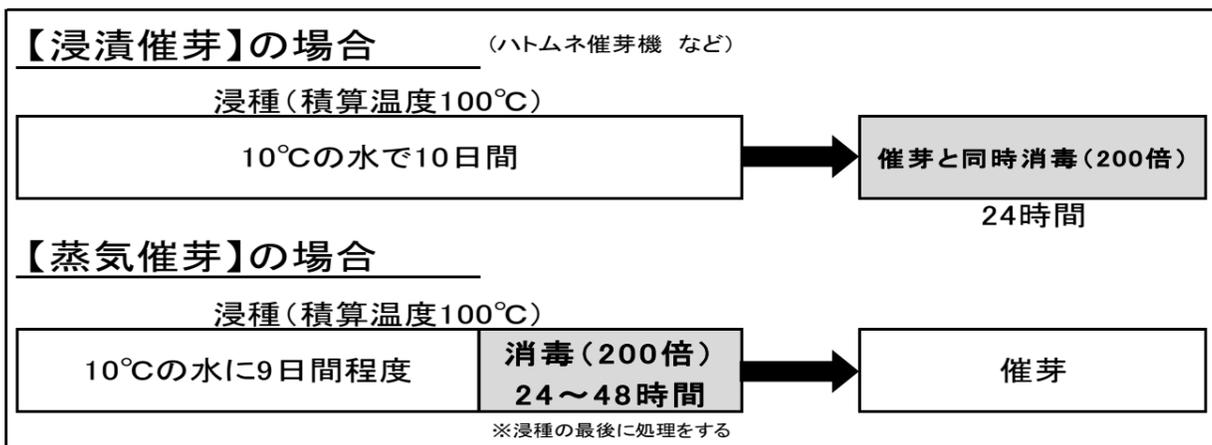


○種粉は握っても手に着かない程度に脱水、または陰干しを行う(均一に散布するため)
○タフブロックを使用する場合はダコニール粉剤などは使用しない(タフブロックの菌が活動できなくなるため)

5.タフブロックの使い方

☆注意点

- ・タフブロックの菌は粉表面からはがれやすいため消毒中は液の攪拌はしない。
- ・種粉を取り出す時はゆっくりと行う。
- ・乾燥は天日干しでなく風通しの良い日陰で行う。



お問い合わせ先	
JA柏崎営農指導課	21-2095
JA中央柏崎支店	23-3411
JA南部高田支店	22-5165
JA東部田尻支店	22-5264
JA北部西中通支店	23-2357
JA高柳支店	41-2244
JA刈羽支店	45-2255
JA西山支店	47-2001
柏崎農業普及指導センター	21-6263

中山間地版No.1

柏崎地域農業振興協議会
柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎農業協同組合、柏崎土地改良区
柏崎農業普及指導センター(柏崎地域振興局農業振興部)